

事故「無し」に向け「梨」を手に街頭啓発

秋の交通安全県民運動期間中の9月26日に交通安全を呼びかける街頭啓発がセブンイレブン赤池店前で行われました。田川警察署、交通安全推進協議会、町職員など約20人が通行中のドライバーを呼び止め「交通事故『無し』」とかけた特産品の「梨」赤池梨とチラシを配布。約200人により一層の注意を訴えました。



↑ 嶋野町長が先頭で啓発、訪れた運転手に約1時間安全運転を呼びかけ。

↓ 豆皿や小鉢、茶碗やカップなど13窯それぞれの自信作が並んだ上野焼陶芸館。



花器を今秋のテーマに茶陶上野をPR

国指定伝統的工芸品「上野焼」の新作を披露する「秋の窯開き」が10月12日から3日間、上野焼陶芸館と13窯で開催されました。23回目を迎えた今回のテーマは「花器」。展示場には多種多様な釉薬による花瓶や一輪挿しなどが並びました。期間中は割引販売され、陶芸ファンが手に取って品定めを楽しんでいました。

↓ スタート駅となった赤池駅の駅前公園は、ウォーキング参加者の長蛇の列ができる盛況ぶりでした。



福智スイーツ大「歩」会初開催

福智スイーツ大茶会にあわせた「JR九州ウォーキング」が10月13日に初開催されました。JRの駅がない場所としては特別な実施です。赤池駅をスタートし、ふくちのちや上野の里を経て、ゴールは大茶会会場の金田ドームという約10kmのコース。マフィンやジェラートなど大茶会にふさわしい特典も人気を集め、およそ600人が秋晴れの中、汗を流しました。

車両基地での乗車体験でレールを疾走

平成筑豊鉄道の車両基地を公開する恒例の「へいちくフェスタ」が10月13日から2日間、金田駅裏で開催されました。「駅ナカマルシェ」で沿線グルメの露店などが並んだほか、「レールフェス」と題した企画では「軌道自動自転車」や「ミニちくまる号」の乗車体験が人気を集め、多くの家族連れでにぎわいました。



↑ レールの保守点検に使う軌道自動自転車、風を受けながら往復400mを疾走。

↓ 1・2回戦は苦戦しながらも重圧を跳ねのけ、力を出し切ったメンバーたち。



チーム名冠する記念大会で貫禄の優勝

少年野球の金田ジュニアクラブが9月23日から10月にかけて3日間の日程で行われた創立40周年記念大会で優勝を飾りました。県内外の58チームの中で貫禄を見せ4連勝。チーム1期生でもある嶋田監督は「重圧のある中でよく頑張った。支えてくれる地域や歴代メンバーに感謝したい」と喜びを語りました。

古墳を前に親子で磨いた思い出の勾玉

伊方古墳の遠賀川流域古墳遺跡同時公開にあわせた「親子勾玉教室」が10月21日に開かれました。3年ぶりの開催で26組の親子連れがチャレンジ。白い滑石を削って形を整え、表面が滑らかになるまでヤスリで磨き続けました。参加者は古墳の前に古代の装飾品を親子で型作りながら、当時の風土に思いをはせました。



↑ 根気強さにも磨きがかかった勾玉作り、親子の「一生の宝物」ができました。

↓ 指導歴36年、福岡県空手道連盟の強化委員長も務める中藤さんの指導。



全国の強豪相手に指導者として好成績

福岡県で9月29日から11日間の熱戦が行われた第73回国民体育大会の空手道種目で、中藤保弘さん(赤池)が福岡県の監督に選出されました。4年連続で監督を務めた今大会、指導した8人は準優勝やベスト8など例年以上の活躍。多忙な日々の中、高校や道場で週4日指導を行うなど競技の発展に貢献しています。